

博士課程教育リーディングプログラム現地視察報告書(平成29年度)

博士課程教育リーディングプログラム委員会

機 関 名	滋賀医科大学	整理番号	U03
プログラム名称	アジア非感染症疾患(NCD)超克プロジェクト		
プログラム責任者	山田 尚登	プログラムコーディネーター	三浦 克之
<p>1. 進捗状況概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価の結果を踏まえて関係者がプログラムの趣旨をもう一度熟考し、それに沿って真摯に対応している印象を持った。また、支援対象学生との意見交換においても、学生がプログラムの趣旨をよく理解し、グローバルリーダー像に関して各人がそれぞれのイメージ像を持ち、本プログラムに積極的に参加している印象を持った。前回の意見交換時と比較すると格段の進歩が見られた。 ・中間評価のヒアリングの際に新しく提案されたカリキュラムとしては、「企業のトップを招聘した特別講演会」が企画され、「学生主体の企画による研究事業費申請」が実施された。また、「学生主導のリーダー育成講座の企画」も実施されており、「アジアフィールドワークによる現場体験の充実」も実施されている。 <p>以上のように、新しく提案されたカリキュラムは着実に実行されつつあり、今後 NCD 分野においてグローバルに活躍するリーダーの養成が期待できる。</p> <p>2. 意見（改善を要する点、実施した助言等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規のカリキュラムも含めて、それぞれについて必ず評価を行って、その結果を関係者にフィードバックし、カリキュラムを常に改善する努力をお願いしたい。 ・本プログラムを突破口として、本プロジェクトが目標としている「アジア太平洋州における NCD 対策を牽引するグローバルリーダー」を養成するという意識を共有し、そのために大学全体で総力をあげて本プログラムに協力していただきたい。この点がまだ弱い印象があり、更なる努力をお願いしたい。 			